



覚書締結金融機関とのインタビュー企画

コロナのピンチを覚醒のチャンスに!

がんばる金融機関インタビュー

主催：中小企業支援委員会 共催：広報委員会

第4回 但陽信用金庫

日時：令和2年6月19日(金)

場所：但陽信用金庫本店

出席者：田中和彦常務理事 事業所営業推進部 藤原課長

TKC：神澤佳裕会員 藤澤佳陽会員

【但陽信用金庫様からのお願い】

タイムリーな試算表の提供とともに、取引先の資金繰り支援および本業支援に連携した取り組みをお願いしたい。

以下、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地元中小企業・小規模事業者への支援が課題となるなか、覚書締結金融機関である但陽信用金庫の田中和彦常務理事、事業所営業推進部・藤原課長と対談し、今後の相互協力のあり方について意見交換をしました。

「新型コロナウイルス感染症への対応」

神澤 税務申告・納付期限の延長措置により、取引先中小企業の決算書・申告書の作成が遅れる可能性があります。貴行への影響や、行員様への周知状況などをお聞かせください。

藤原 2件ほどは申告書・決算書の作成が遅れる予定を把握しています。営業店に確認しているところでは他に影響はないという状況です。

藤澤 取引先に対する資金繰り支援についてはいかがでしょうか？

藤原 4,600件の全事業所融資先、それに預金取引先と新規訪問先を加えた、5,900件への影響確認訪問を実施し、本部・営業店間で情報共有しています。

田中 営業店におけるヒアリング進捗状況の確認と、対応が難しい取引先の取り組み方針については、本部役員3名が営業店をまわり、すり合わせを実施しています。

藤原 現状では、無利子融資を中心とした新規融資の相談が大半で、事業性融資の条件変更は約30件の状況です。無利子融資への取り組みは、お客様と一緒に資金繰りを検討したうえで、必要な資金を必要ときに提供することを徹底しており、間違っても枠取りのような取り組みは厳に慎むよう徹底しています。



田中和彦常務理事 藤原課長

「取引先への支援策」

藤澤 但陽信用金庫様の支援の状況についてお聞かせください。

藤原 無利子融資をはじめとする融資による支援以外にも各種公的支援策を案内し、専門家派遣を含めた申請支援等を行っています。大変多くの公的支援策があるため、本部で一覧表にして、営業店がパソコン上で確認できるようにしています。

現在、専門家派遣で多いのが、働き方改革支援センターと知的財産支援総合窓口で、特に働き方改革支援センターは5回まで無料で活用できることから、社会保険労務士による雇用調整助成金の申請支援が主体となっています。

田中 当金庫は一定の実績があることから、先生方の顧問先で利用希望先がありましたら、積極対応させていただきますので、顧問先支援および連携強化の一環として活用いただければと思います。

藤澤 継続した支援としてはどれぐらいの期間を考えておられますか？

田中 コロナ禍による影響がどの程度続くのかが見えませんので、資金繰り支援においては、どの程度の期間の固定費相当額を調達すればよいのか判断に迷うところで、新しい生活様式への対応が求められるなか、取引先の業態も大きく変化しており、コロナ終息後もコロナ前のキャッシュフローが確保できるとは限らないため、ビジネスモデルの再構築と併せ、長期的な各種支援が必要と考えています。

「TKCモニタリング情報サービスの評価と活用」

藤澤 TKCモニタリング情報サービスはいかがでしょうか？ 現在、決算書提供サービスが248社、月次試算表提供サービス32社の状況です。
(9/11時点 各264社、35社)

藤原 はい、TKCモニタリング情報サービスで決算書や月次試算表をいただけると庫内のやりとりもスムーズですし、助かっています。決算書提供サービスについては利用社数300社の早期達成を目指しています。



神澤 月次試算表提供サービスは必要、不要という取引先の基準等がありますか？ あまり多く送られても困る状況がありますか？ 提供のタイミングとしては毎月、四半期、半期と選択できるのですがいかがでしょうか？

田中 月次試算表提供サービスについては大変便利なサービスであり、送られたら困るということはありません。タイムリーにお客様の足下の状況を確認させていただけますし、積極的な情報開示の姿勢を当金庫としては評価したいと考えております。

藤澤 今後も加古川支部会員と力をあわせてTKCモニタリング情報サービスの普及・推進に努めていきます。本日はありがとうございました。